

おしえて！ エス デ ィ ー ジ ー ズ

SDGs



－ 持続可能なまちづくりのために －

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地球上の誰一人として取り残さない持続可能な開発目標「SDGs」。

SDGsは、普段の生活に数多く浸透しています。うがい手洗いをし衛生を保つ、栄養バランスの良い食事を食べる、子どもへの交通安全教育、そして学校に行き勉強する。これらすべてがSDGsにつながる取り組みです。

ゴール目標3と4では何ができるのか一緒に考えてみましょう。



3 すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

ゴール3のターゲットは13項目あり、その中の1つに「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成する」とあります。

UHCとは「すべての人が適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費用で受けられること」を意味しています。日本では比較的身近で医療を受けることができますが、全世界の人口の半分、約35億人が必要な治療を受けられず、治療を受けられたとしても毎年1億人近くが医療費負担を原因として貧困化しているとされています。

まず現状を知り、自分にできることがないか考えてみることから始めてみませんか。

私たちにできること

- ・近所を散歩するなど体を動かす
- ・健康診断や人間ドックを受ける など

町の主要な事業との位置づけ

- ・妊産婦健診時の交通費助成、妊産婦医療費助成事業
- ・健康寿命の延伸事業 など



4 質の高い教育をみんなに

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

ゴール4のターゲットは10項目あり、その中の1つに「すべての学習者が持続可能な開発を促進するために必要な知識および技能を習得できるようにする」とあります。

子どもたちにSDGsの精神を持続させていくための教育が必要となりますが、私たち自身が、しっかりと社会問題に関心を持ち、多様性を高め、自分にできることを行動に移すということが求められています。

現在、学校だけでなく社会全体で子どもの教育を支える活動が根付き始めています。従来の学校の授業だけでは予測できない物事が多くなり、多種多様な学び方が求められています。

私たちにできること

- ・図書館に行って本を読む
- ・勉強会や講習会に参加する など

町の主要な事業との位置づけ

- ・読書活動推進事業
- ・地域と学校の連携・協働事業
- ・小野高等学校連携推進事業 など